

春陽の槍ヶ岳

計画書整理 No.

期 間：平成 27 年 4 月 25 日（土） ～ 4 月 27 日（月）

種 別：個人

山 域：槍ヶ岳

参 加 者：富岡

コースタイム：

4/25 上高地（8:00）⇒ 横尾（11:30） ⇒ 槍沢ロッジ(14:00)

4/26 槍沢ロッジ(5:00)⇒ 槍ヶ岳山頂（11:30）⇒ 槍沢ロッジ(14:00)

4/27 槍沢ロッジ(7:00)⇒ 横尾（8:30）⇒ 上高地(11:30)

記録（文、写真）

「思い出深い山は？」という質問に聞かれると、ありきたり思えるかもしれないが「槍ヶ岳」と答える。今回は開山前で静かな上高地から槍ヶ岳を巡り、また山が好きになった。



4/25 8:00、上高地の河童橋はまだ行楽シーズンの賑わいもなく、静けさを楽しむことができる。そして、雲 1 つない天氣が自然とテンションをあげてしまう。

梓川を左手に見ながら、明神・徳澤を経て、横尾までの道を進む。ここまで歩いて、「雪が少ないな…」と改めて実感する。ここ数日続く好天のせいか、山も道も残雪は多くない。小屋明け前で慌ただしく働くスタッフには、もちろん有難いことだろう。

昼前に横尾を出て、槍沢ロッジまでの道は雪質が柔らかい。「ズッポ」と足をとられる時は、未熟さを感じる(笑)。途中にある槍見河原で今年の「初槍」を仰ぎ見ると、まもなく槍沢ロッジに到着する。

4/26 5:00 に出発する。ヘッドライトは必要ない明るさ、雪質はアイゼンで歩くのに適度な固さである。ババ平・大曲までは日影のエリアが多く、体を動かしても、暑さは適度である。

殺生ヒュッテを目視で確認できる場所まで足を運ぶと、日なたのエリアとなる。槍ヶ岳山荘まで一直線に、断続的にピンクのリボンが揺れている。200m 前後の傾斜を登り切れば、槍ヶ岳山荘に到着する。山荘から穂先へ進む道は雪や氷の量は少ないので、足運びは難しくない。夏のシーズンと変わらない程の印象を受けた。

白い峰々が 360° 広がっている穂先からの展望は、やはり気持ちがいい。そして、ここからの景色を見ると、山が好きだと再確認できる。

4/27 7:00 に上高地にむけて、出発する。日焼けで黒くなった顔は、どこか満足気なオッサン顔だった。帰りの空も雲がなく、この山行の間に雲を見ていないと気付く。天気にも恵まれたため、苦労やハプニングの少ない山行ではあった。

河童橋のあたりで、山開きの神事が行われていた。今シーズンも、とにかく安全な登山を心掛けていきたいと強く想った。